

生物資源管理学科

1. 受賞

重吉沙衣, 入江俊一, 鈴木一実, 宮川 恒, 田中千尋, 泉津弘佑 (2017) 全ゲノム解析による抗真菌性化合物 Tolnifanide 耐性遺伝子の同定. 第17回糸状菌分子生物学コンファレンス, 佐賀市. 企業特別賞・クミカ奨励賞 (2017年11月16日～11月17日).

森井清仁, 中野光議, 中西康介, 高倉耕一 (2017) スジシマドジョウ2種の保全地における危機と順応的管理. 第29回日本環境動物昆虫学会年次大会. 彦根市 優秀講演発表賞 (2017年11月18～19日).

2. 著書

Sugiura, S.H. (2018) Phosphorus in Fish Nutrition, Bookway-Global, Hyogo.

3. 論文

辻康介, 原田英美子 (2017) オオカナダモ付着微生物のマンガン酸化物生成機構の解明－生物材料と無生物材料の比較－ 滋賀自然環境研究会誌 15: 1-6.

Tsuji, K., T. Asayama, N. Shiraki, S. Inoue, E. Okuda, C. Hayashi, K. Nishida, H. Hasegawa, E. Harada. (2017) Mn accumulation in a submerged plant *Egeria densa* (Hydrocharitaceae) is mediated by epiphytic bacteria. Plant, Cell and Environment 40: 1163-1173.

山中麻帆, 平山琢二, 盧 尚建, 林 英明, 加藤和雄, 鈴木啓一, 及川卓郎 (2017) 牛肉への海藻類添加が 食味官能評価に与える影響. 日本暖地畜産学会報. 60(2) : 129-133.

Yoshitake S, Uchida M, Iimura Y, Ohtsuka T, Nakatsubo T (2018) Soil microbial succession along a chromosome on a High Arctic glacier foreland, Ny-Alesund, Svalvard: 10 years' change. Polar Science, in press.

Chen S, Yoshitake S, Iimura Y, Asai C, Ohtsuka T (2017) Dissolved organic carbon (DOC) input to soil: DOC fluxes and their partitions during the growing season in cool-temperate broad-leaved deciduous forest, central Japan. Ecological Research, 32, 713-724.

Kida M, Tomotsune M, Iimura Y, Kinjo K, Ohtsuka T, Fujitake N (2017) High salinity leads to accumulate of soil organic carbon in mangrove soil. Chemosphere 177, 51-55.

Sato, T., Irie, T., Yoshino, F. (2017) Heterologous expression of the Pleurotus ostreatus MnP3 gene by the laccase gene promoter in Lentinula edodes. Biosci Biotechnol Biochem. 81(8): 1553-1556

Izumi, Y., Okaichi, S., Awala, S. K., Kawato, Y., Watanabe, Y., Yamane, K. and Iijima, M. (2018) Water supply from pearl millet by hydraulic lift can mitigate drought stress and improve productivity of rice by the close mixed planting. Plant Prod. Sci. 21: 8-15.

T. Sumita, K. Izumitsu, C. Tanaka (2017) Characterization of the autophagy-related gene *BmATG8* in *Bipolaris maydis*. Fungal Biology 121: 785-797.

Chen D, H. Masumoto, Y. Kitade, K. Izumitsu, C. Tanaka (2017) Genetic analyses of reddish-brown polyoxin-resistant mutants of *Bipolaris maydis*. Mycoscience DOI:10.1016/j.myc.2017.12.002.

Masuda K. (2018) Energy efficiency of intensive rice production in Japan: an application of data envelopment analysis, Sustainability 10(1), doi:10.3390/su10010120.

増田佳昭 (2017) 歴史的にみた日本の総合農協の特質－法制度における行政との関係を中心に－. 農業と経済 2017年7・8月合併号 : 56-67.

増田佳昭 (2017) JAにおける正・准組合員の異質性と同質性－組合員アンケート結果をもとに－. 協同組合経営研究誌・にじ 2017年臨時増刊号 : 69-79.

増田佳昭 (2018) 農業、林業、漁業の「生産組合」の特質と株式会社化の問題点. 入会林野研究 38 : 15-28.

皆川明子, 長友里恵, 原田一毅, 山本達也 (2018) 三重県におけるトウカイコガタスジシマドジョウの繁殖期と水稻作期との関係. 三重県総合博物館研究紀要 4:1-7.

水野敏明, 東善広, 井関明子, 北井剛, 小島永裕, 三井香代子, 大久保卓也, 永田貴丸, 佐藤祐一 (2018) 政策課題研究2 在来魚の保全・再生に向けた流

域管理に関する研究, 琵琶湖環境科学研究センター 研究報告書 (H26~H28), 28-46.

Sudo M, Goto Y, Iwama K, Hida Y (2018) Herbicide discharge from rice paddy fields by surface runoff and percolation flow: A case study in paddy fields in the Lake Biwa Basin, Japan. *Journal of Pesticide Science* 43(1): 24-32.
Goto Y, Sudo M (2018) *Environmental Science and Pollution Research*. in press

小幡善也, 横山 綾, 泉津弘佑, 入江俊一, 鈴木一実 (2017) ウリ類炭疽病菌のホメオボックス転写因子CoHox4は栄養菌糸生育, 分生胞子の形態, 付着器形成および病原性に関与する, 日本植物病理学会報, 83: 179.

Yokoyama A, Izumitsu K, Sumita T, Tanaka C, Irie T, Suzuki K (2018) Homeobox transcription factor CoHox3 is essential for appressorium formation in the plant pathogenic fungus *Colletotrichum orbiculare*. *Mycoscience* (in press).

畠 佐代子, 高倉耕一 (2017) 滋賀県彦根市の水田地帯に生息するカヤネズミの食性分析-糞DNA分析からの推定. *環動昆* 28: 121-131.

北野大輔, 曾我部共生, 佐竹祐亮, 高倉耕一 (2017) 琵琶湖につながる小規模水域におけるオオクチバス *Micropterus salmoides* 小型個体の性成熟. *保全生態学研究* 22: 345-349.

De Smet Y, De Clerck O, Uemachi T, Mendoza CG, Wanke S, Goetghebeur P, Samain M-S (2017) Multilocus coalescent species delimitation to evaluate traditionally defined morphotypes in *Hydrangea* sect. *Asperae* (Hydrangeaceae). *Mol. Phylogenet. Evol.* 114: 415-425.

Kitamura Y, Uemachi T, Kato Y (2017) Non-decorative floral organs largely contribute to transpiration and vase life of cut hydrangea flowers with lacecap inflorescence. *Hort. J.* 86: 263-268.

4. 作品
(なし)

5. 報告書, その他著作, 一般向け記事

1) 科研費他外部研究費による研究の成果報告書
入江俊一 (2017) 科学研究費補助金基盤研究(C) 平成27~29年研究成果報告書. プロテインキ

ナーゼA触媒サブユニット遺伝子過剰発現によるリグニン分解系誘導の機構.

清水顕史 (2017) 科学研究費補助金基盤研究(C) 平成26~28年研究成果報告書. 貧栄養ストレス耐性イネ品種開発のためのゲノム解析.
高倉耕一 (2017) 科学研究費補助金基盤研究(C) 平成26~28年研究成果報告書. 自家受粉依存を高める在来種: 外来種からの繁殖干渉と遺伝的多様性低下の検証.

2) 受託研究等の報告書

清水顕史 (2017) イネのリン酸吸収と利用を改善する遺伝子の同定とDNAマーカーの開発. ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト 平成29年度試験研究成績書: 29-37.

須戸幹 (2017) 残留実態が明らかでない農薬成分の湖沼(琵琶湖)での残留リスク評価および発生源と浄水過程におけるリスク軽減対策. 河川整備基金助成事業2014年~2016年.

3) ハンドブック, 辞典, 図鑑などへの執筆
(なし)

4) 新聞, 一般向け雑誌等への解説記事など
畑直樹 (2017) ニュースレター, 養液栽培研究会 編 57: 11-12.

畑直樹 (2017) ニュースレター, 養液栽培研究会 編 58: 11-12.

増田佳昭 (2017) 二つの危機の打開を. *J A 金融法務*561: 1.

増田佳昭 (2018) 明るく、楽しく、潔くー運動としての自己改革を. *農業開発研修センター・地域農業と農協*47(3): 2-3.

6. 学会等への発表

原田英美子 (2017) 放射光蛍光X線分析を用いた植物の重金属集積機構の解明. 高輝度放射光を利用した微量元素計測の最前線. 仙台 (7月29日).

Harada E., T. Asayama, K. Tsuji, H. Hasegawa. (2017) Hyperaccumulation of manganese in a submerged plant is mediated by epiphytic bacteria. 6th International Symposium on Metallomics 2017, Vienna, Austria (2017年8月14日~17日).

Harada E., K. Inada, T. Mori, H. Kimura, M. Sho, M. Yokoyama, C. Takenaka, R. Tomioka, A. Hokura, Y. Terada, T. Mizuno. (2017)

Strontium (Sr) accumulation in woody plants: production of Ca/Sr containing grains in the stem bark. 6th International Symposium on Metallomics 2017, Vienna, Austria (2017年8月14日～17日).

原田英美子, 浦部美佐子, 高倉耕一, 西田隆義, 丸尾雅啓 (2017) 研究不正防止を目指した実践的大学院カリキュラムの構築. 第35回日本植物細胞分子生物学会, さいたま市 (2017年8月29日～31日)

黒沢高秀, 原田英美子 (2017) 水生植物の現在・過去・未来. 日本植物学会第81回大会関連集会「拡がる水生植物の植物学～分野横断的研究のすすめと利活用の可能性～」, 野田市 (2017年9月8日).

原田英美子, 辻康介, 浅山拓馬, 長谷川博 (2017) 沈水植物オオカナダモのマンガン集積性における付着微生物の寄与. 日本植物学会第81回大会関連集会「拡がる水生植物の植物学～分野横断的研究のすすめと利活用の可能性～」, 野田市 (2017年9月8日).

永川栄泰, 上本道久, 黒沢高秀, 首藤光太郎, 長谷川博, 櫻井昇, 原田英美子 (2017) 水生植物における放射性セシウムの蓄積状況及び吸収経路の解明. 日本植物学会第81回大会関連集会「拡がる水生植物の植物学～分野横断的研究のすすめと利活用の可能性～」, 野田市 (2017年9月8日).

原田英美子, 横山未季, 庄美冴子, 木村ひろみ, 竹中千里, 富岡利恵, 水野隆文 (2017) ヤナギ樹皮中のカルシウム・ストロンチウム含有結晶の生成機構の解明. 日本植物学会第81回大会, 野田市 (2017年9月8日～10日).

原田英美子 (2017) 水生植物オオカナダモの金属集積機構の解明と有効利用法の開発. 第5回メタロミクス研究フォーラム, 京都市 (2017年11月25日～26日).

原田英美子, 浦部美佐子, 高倉耕一, 西田隆義, 丸尾雅啓 (2017) 研究不正防止を目指した実践的大学院カリキュラムの構築—滋賀県立大学の事例—. 第40回日本分子生物学会年会 (ConBio2017), 神戸市 (2017年12月6日～9日).

Matsumura S., M. Minagawa, N. Hata, E. Harada, T. Yasuda, and R. Kurimoto (2017) Effect of zeta potential of microbubbles on growth of Japanese mustard spinach (*Brassica rapa* var. *perviridis*) in soilless culture system. The 3rd UST-USP Joint Symposium, Hikone (2017年12月15日).

Numata H., N. Ono, H. Miyamura, N. Noma, K. Iwama, E. Harada (2017) Heavy metal adaptation and vegetation of an endangered plant, *Arabidopsis kamchatica* ssp. *kawasakiana*. The 3rd UST-USP Joint Symposium, Hikone (2017年12月15日).

Otsuka M., S. Nakagawa, T. Iimura, and E. Harada (2017) Characterization of Zn/Cd hyperaccumulator *Arabidopsis halleri* ssp. *gemmifera* growing in calcareous soil. The 3rd UST-USP Joint Symposium, Hikone (2017年12月15日).

永川栄泰, 上本道久, 黒沢高秀, 首藤光太郎, 長谷川博, 櫻井昇, 原田英美子 (2018) 水生植物を指標とした放射性及び非放射性Csの動態—2015-2016年の結果—, 第19回「環境放射能」研究会, つくば市 (2017年3月13日).

原田英美子, 吉崎翔平, 市川義崇, 辻康介, 田辺(細井)祥子 (2018) 沈水植物オオカナダモ (*Egeria densa*) の付着微生物の菌叢解析とマンガン酸化物の生成. 日本農芸化学会2018年度大会, 名古屋市 (2018年3月15日～18日).

原田英美子, 浦部美佐子, 楠本高義, 高倉耕一, 西田隆義, 丸尾雅啓 (2017) 実践的大学院教育「環境研究倫理特論」のカリキュラム構成と正式講義化. 第59回日本植物生理学会, 札幌市 (2018年3月28日～30日).

伊達修一, 松浦健人, 畑直樹, 寺林敏 (2017) 人工光型植物工場でのゴマ幼植物体の栽培における日長および温度条件が葉の褐変の発生に及ぼす影響. 第81回日本養液栽培研究会千葉大会, 柏市 (2017年5月25日).

松村怜, 南川久人, 安田孝宏, 栗本遼, 畑直樹, 原田英美子 (2017) マイクロバブルのゼータ電位がコマツナの生育に及ぼす影響. 日本混相流学会混相流シンポジウム 2017, 調布市 (2017年8月19日～8月21日).

東亜莉沙, 森太郎, 岡本藍, 山下悟, 上町達也, 畑直樹, 久保加織 (2017) 滋賀県伝統野菜の継承に向けた特性評価. 日本調理科学会平成29年度大会, 東京都文京区 (2017年8月31日～9月1日).

畑直樹, 渡邊理紗子, 伊達修一 (2017) 温室内と人工気象器内で栽培したゴマの葉の光合成・蒸散特性ならびに無機養分含量の差異. 園芸学会平成29年度秋期大会, 江別市 (2017年9月2日～9月4日).

松村怜, 畑直樹, 南川久人, 原田英美子, 安田孝宏, 栗本遼, 宮寄一樹 (2017) pHが異なる低濃度培

- 養液でのマイクロバブル処理が水耕コマツナの生育に及ぼす影響. 園芸学会平成29年度秋期大会, 江別市 (2017年9月2日~9月4日).
- 二村晴子, 畑直樹 (2017) ペットボトル底面給水法による培養液施用がエダマメ挿し木苗の生育および根粒着生に及ぼす影響. 平成29年度園芸学会近畿支部滋賀大会, 大津市 (2017年9月20日).
- 畑直樹, 豊永優樹, 山下悟, 森太郎, 久保加織, 上町達也 (2017) 滋賀県伝統野菜17品目の無機成分含量の評価. 平成29年度園芸学会近畿支部滋賀大会, 大津市 (2017年9月20日).
- 山中麻帆, 平山琢二, 林 英明, 盧 尚建, 加藤和雄, 鈴木啓一, 及川卓郎 (2017) 牛肉への海藻類浸漬が食味官能評価に与える影響. 日本畜産学会第123回大会, 長野市 (2017年9月6日~7日).
- 飯村康夫, 小林美春 (2017) 土壌深層でのプライミング効果: セルロース添加に伴う火山灰土壌層の応答を例に, 日本土壌肥料学会2017, 仙台 (2017年9月5日~9月7日).
- 飯村康夫, 金城和俊, 大塚俊之 (2017) マングローブ林における地下部炭素蓄積量と土壌炭素の起源: 石垣島吹通川河口を例に, 日本腐植物質学会 2017, 山口市 (2017年11月16日~11月17日).
- 大塚俊之, 荒井秀, 友常満利, 吉竹晋平, 大西建夫, 藤嶽暢英, 木田森丸, 近藤美由紀, 飯村康夫, 金城和俊 (2018) マングローブの生態系純生産量 (NEP) は本当に大きいのか?, 日本生態学会2018, 札幌 (2018年3月14~3月18日).
- 湯村直樹, 中沢威人, 大沼広宜, 泉津弘佑, 入江俊一, 福田泰久, 白坂憲章, 坂本正弘, 本田与一 (2017) 白色腐朽菌ヒラタケにおけるGH10・GH11の機能喪失がsリグニン分解に及ぼす影響について. 第62回リグニン討論会, 名古屋市 (2017年10月26日~10月27日).
- 井本篤志, 栗山和也, 左近静香, 阪本鷹行, 泉津弘佑, 鈴木一実, 入江俊一 (2017) *Phanerochaete chrysosporium*におけるaldo-keto還元酵素AKR1. 日本農芸化学会2017年度大会, 京都市 (2017年3月17日~3月20日).
- 廣岡義博・渡邊芳倫・庄司浩一・土屋賢太・泉泰弘・宇都宮鑑彦・Simon K. Awala・飯嶋盛雄 (2017) ナミビア季節性湿地帯における畝立て方法がトウジンビエの生育・収量に与える影響. 第244回日本作物学会講演会, 岐阜市 (2017年9月14日~15日).
- 重吉沙衣, 入江俊一, 鈴木一実, 宮川 恒, 田中千尋, 泉津弘佑 (2017) 全ゲノム解析による抗真菌性化合物 Tolnifanide 耐性遺伝子の同定. 第17回糸状菌分子生物学コンファレンス, 佐賀市 (2017年11月16日~11月17日).
- 門岡千尋, 泉津弘佑, 奥津果優, 吉崎由美子, 峯和則, 後藤正利, 玉置尚徳, 二神泰基 (2017) 白黴菌におけるミトコンドリア局在型クエン酸輸送体CtpAとYhmAの機能解析. 第17回糸状菌分子生物学コンファレンス, 佐賀市 (2017年11月16日~11月17日).
- 住田卓也, 泉津弘佑, 田中千尋 (2017) ウリ類炭疽病菌の F-box 遺伝子 CoGRR1 は付着器細胞の生存維持に重要である. 第17回糸状菌分子生物学コンファレンス, 佐賀市 (2017年11月16日~11月17日).
- 西行優子, 吉田裕史, 泉津弘佑, 田中千尋 (2017) Bipolaris maydis におけるジカルボキシミド系殺菌剤耐性に関わるDic3遺伝子の同定. 第17回糸状菌分子生物学コンファレンス, 佐賀市 (2017年11月16日~11月17日).
- 北出雄生, 泉津弘佑, 住田卓也, 田中千尋 (2017) トウモロコシごま葉枯病菌のSeptinの同定と機能解析. 第17回糸状菌分子生物学コンファレンス, 佐賀市 (2017年11月16日~11月17日).
- 石井ちぐさ, 山本達也, 皆川明子, 西田一也 (2017) 模型実験による魚溜工および合流枡の魚類の退避場としての機能の検証. 平成29年度農業農村工学会全国大会, 藤沢市 (2017年8月29日~9月1日).
- 増田佳昭 (2017) 農業、林業、漁業の「生産組合」の特質と株式会社化の問題点. 中日本入会林野研究会, 京都市 (2017年9月1日).
- 増田佳昭 (2017) 「農協改革」の三つのテーマー 狙い, 到達点, 今後の展開方向ー. 食農資源経済学会大会, 佐賀市 (2017年9月30日).
- 増田佳昭 (2018) 「農協改革」をめぐる経過と「自己改革」の取組課題. 日本協同組合学会新理論研究会, 京都市 (2018年3月29日).
- 伊藤弘太, 境宏貴, 古田晋一郎, 大久保卓也 (2017) 農業排水路に設置した人工産卵床による在来魚の増殖手法の開発. 第74回農業農村工学会京都支部研究発表会, 金沢市 (2017年10月25日).
- 境宏貴, 伊藤弘太, 古田晋一郎, 大久保卓也 (2017) 外来魚による在来魚捕食防御のための魚礁の開発. 第74回農業農村工学会京都支部研究発表会, 金沢市 (2017年10月25日).
- 原田一毅, 山本貴大, 皆川明子, 大久保卓也 (2017) 水田での溝切りがニゴロブナの降下に与える影響. 第74回農業農村工学会京都支部研究発表会, 金

- 沢市 (2017年10月25日).
- 中西康介, 大久保卓也 (2017) 水田における中干しが水生動物群集の動態にあたる影響, 日本環境動物昆虫学会第29回年次大会 (2017年11月19日).
- 伊藤弘太, 境宏貴, 古田晋一郎, 大久保卓也 (2017) 農業排水路に設置した人工産卵床による在来魚の増殖方法の検討. 平成30年度日本水産学会春季大会, 東京都 (2018年3月27日~29日).
- 境宏貴, 伊藤弘太, 古田晋一郎, 大久保卓也 (2017) 外来魚による在来魚捕食防御のための魚礁構造の検討. 平成30年度日本水産学会春季大会, 東京都 (2018年3月27日~29日).
- 工藤真帆, 小梶裕之, 平林秀介, 清水顕史 (2017) 寒天培地によるイネのリン酸鉄利用能に対するスクリーニング法の検討. 日本育種学会第132回講演会, 盛岡市 (2017年10月8日).
- 木村成子, 山田剛史, 須戸幹, 伴修平, 小山光彦, 戸田龍樹 (2018) 水草を材料としたメタン発酵消化液中に含まれるMgの存在形態. 第52回日本水環境学会年会, 北海道大学 (2018年3月15日~17日).
- 梶原暢人, 吉村康平, 須戸幹, 堀内萌恵 (2018) 環境水中の農薬濃度におけるパッシブサンプリング法の有用性の検討. 第52回日本水環境学会年会, 北海道大学 (2018年3月15日~17日).
- 吉村康平, 梶原暢人, 堀内萌恵, 須戸幹 (2018) 小麦転作田からの降雨時の農薬の流出濃度と流出負荷量. 第52回日本水環境学会年会, 北海道大学 (2018年3月15日~17日).
- 小幡善也, 横山綾, 泉津弘佑, 入江俊一, 鈴木一実 (2017) ウリ類炭疽病菌のホメオボックス転写因子CoHox4は栄養菌糸生育, 分生胞子の形態, 附着器形成および病原性に関与する. 平成29年度日本植物病理学会大会, 盛岡市 (2017年4月26日~28日).
- 小幡善也, 横山綾, 泉津弘佑, 入江俊一, 鈴木一実 (2017) ウリ類炭疽病菌のホメオボックス転写因子CoHox4は多様な形態分化および病原性に関与する, 第17回糸状菌分子生物学コンファレンス, 佐賀市 (2017年11月16日~17日).
- 森井清仁, 中西康介, 中野光議, 高倉耕一 (2017) 同所的に繁殖するスジシマドジョウ種群2種の対照的な繁殖成功. 2017年度日本魚類学会年会, 函館市 (2017年9月15~18日).
- Morii K, Nakano M, Nakanishi K, Takakura KI (2017) Extinction driven by reproductive interference between native species in field—a case study of two spined loaches—. 第33回個体群生態学会大会, 福岡市 (2017年10月13~15日).
- Kitano D, Fujii N, Sujiono, Yamaue S, Kitamura T, Honma A, Tsukada M, Nishida T, Sawada H, Takakura KI (2017) Reproductive interference can explain host plant partitioning on two oriental fruit flies. 第33回個体群生態学会大会, 福岡市 (2017年10月13~15日).
- 森井清仁, 中野光議, 中西康介, 高倉耕一 (2017) スジシマドジョウ2種の保全地における危機と順応的管理. 第29回日本環境動物昆虫学会年次大会. 彦根市 (2017年11月18~19日).
- 遠藤耕平, 高倉耕一 (2017) ホトケノザは近縁種由来の物質を受容して閉鎖花を形成する—虫媒から自花授粉に切り換わる至近メカニズム—. 第29回日本環境動物昆虫学会年次大会. 彦根市 (2017年11月18~19日).
- 山上繁政, 藤井暢之, Sujiono, 西田隆義, 沢田裕一, 高倉耕一 (2017) 複数の打ち切りデータをもとに卵巣内成熟卵数の増加パターンを推定する. 第29回日本環境動物昆虫学会年次大会. 彦根市 (2017年11月18~19日).
- 北野大輔, 藤井暢之, Sujiono, 山上繁政, 来田村輔, 本間淳, 塚田森生, 西田隆義, 沢田裕一, 高倉耕一 (2017) ミカンコミバエ種群2種における繁殖干渉—害虫の寄主利用を種間相互作用で説明する. 第29回日本環境動物昆虫学会年次大会. 彦根市 (2017年11月18~19日).
- 久岡知輝, Sujiono, 沢田裕一, 高倉耕一, 西田隆義 (2017) インドネシア ジャワ島におけるミバエ類3種の季節消長~2012年から2016年のトラップ調査より—. 第29回日本環境動物昆虫学会年次大会. 彦根市 (2017年11月18~19日).
- 古川真莉子, 沢田裕一, 高倉耕一, 中西康介, 西田隆義 (2017) 侵略的外来種ヒロヘリアオイラガはなぜ減ってしまったのか—外来種衰退メカニズムの実証①—. 第29回日本環境動物昆虫学会年次大会. 彦根市 (2017年11月18~19日).
- 古川真莉子, 沢田裕一, 高倉耕一, 中西康介, 西田隆義 (2017) 侵略的外来種ヒロヘリアオイラガはなぜ減ってしまったのか—外来種衰退メカニズムの実証②—. 第29回日本環境動物昆虫学会年次大会. 彦根市 (2017年11月18~19日).
- 北野大輔, 藤井暢之, Sujiono, 山上繁政, 来田村輔, 本間淳, 塚田森生, 西田隆義, 沢田裕一, 高倉耕一 (2018) 繁殖干渉は植食性昆虫における寄主分割の要因となるか—ミカンコミバエ種

群を例にして, 第65回日本生態学会大会, 札幌市 (2018年3月14~18日).

森井清仁, 中西康介, 中野光議, 高倉耕一 (2018) スジシマドジョウ2種の種間関係—資源競争? 見かけの競争? 繁殖干渉?. 第65回日本生態学会大会, 札幌市 (2018年3月14~18日).

大槻美夏, 小倉隼人, 肥田嘉文, 上町達也 (2017) 変異原性の変動の特徴 - 栽培野菜の部位による違いから見た考察 -. 第52回日本水環境学会年会, 札幌市 (2018年3月15日~3月17日).

7. 研究会等, 講演会, 特別講義での発表

1) 研究会等における発表

原田英美子 (2017) 里山里地の生物資源—オオカナダモの金属集積性に着目した有効利用法の開発—. 「里山里地との上手なつきあいかた」フォーラム&里山ワークショップ, 彦根 (2017年11月19日).

吉崎翔平, 原田英美子 (2017) オオカナダモ附着微生物の酸化マンガン生成機構. 「里山里地との上手なつきあいかた」フォーラム&里山ワークショップ, 彦根 (2017年11月19日).

上坂瑞華, 原田英美子 (2017) DNAバーコーディング法による沈水植物の簡便な種判別法. 「里山里地との上手なつきあいかた」フォーラム&里山ワークショップ, 彦根 (2017年11月19日).

原田英美子, 沈水植物オオカナダモの金属元素集積に関する研究. びわ湖環境ビジネスメッセ2017, 長浜市 (2017年10月18日~20日).

松村怜, 南川久人, 畑直樹, 原田英美子, 安田孝宏, 栗本遼 (2017) マイクロバブルのゼータ電位の違いが水耕コマツナの生育に及ぼす影響. びわ湖環境ビジネスメッセ2017, 長浜バイオ大学ドーム (2017年10月18日~10月20日).

Hirayama T. (2017) High marbled beef production in Japan, Symposium of Hanwoo Meister Association joining with Korea Animal Science Conference, Special lecture, Chonnam national university (Korea) (2017年6月29日).

大久保卓也, 伊藤弘太, 境宏貴, 古田晋一郎 (2017) 農業排水路に設置した人工産卵床による在来魚増殖方法の検討, 第8回 琵琶湖地域の水田生物研究会, 草津市 (2017年12月17日).

中西康介, 大久保卓也 (2017) 水田で繁殖する水生昆虫やカエルは中干しを乗り越えることができるのか?, 第8回 琵琶湖地域の水田生物研究会, 草津市 (2017年12月17日).

境宏貴, 伊藤弘太, 古田晋一郎, 大久保卓也 (2017) 外来魚による在来魚捕食防御のための魚礁構造の検討, 第13回 外来魚情報交換会, 草津市 (2018年1月28, 29日).

清水顕史 (2017) イネのリン酸吸収と利用を改善する遺伝子の同定とDNAマーカーの開発 (LCT0006). 次世代ゲノムプロジェクト, 文京区 (2018年1月14日).

横山 綾, 泉津弘佑, 入江俊一, 鈴木一実 (2017) ウリ類炭疽病菌におけるホメオボックス転写制御因子CoHox1 および CoHox3の機能解析, 大学院研究交流会, 長浜市 (2017年9月21日).

小幡善也, 横山 綾, 泉津弘佑, 入江俊一, 鈴木一実 (2017) ウリ類炭疽病菌におけるホメオボックス転写制御因子CoHox2, CoHox4およびCoHox6の機能解析, 大学院研究交流会, 長浜市 (2017年9月21日).

森井清仁, 中野光議, 中西康介, 高倉耕一 (2018) ビワコガタスジシマドジョウの危機的状況とその減少要因. 第66回魚類自然史研究会, 奈良市 (2018年3月10~11日).

2) 講演会

増田清敬 (2017) 値段がつかない環境サービスの価値評価. 2017年度環境科学セミナー (第4回), 滋賀県立大学, 彦根市 (2017年11月17日).

皆川明子 (2018) 田んぼが育む生きものと人とのかわり. 平成29年度環境学習指導者養成スキルアップ講座, 三重県総合文化センター, 津市 (2018年3月24日).

須戸幹 (2017) 水質残留農薬の測定方法. 木津高校, 滋賀県立大学, 彦根市 (2015年8月4日).

須戸幹 (2017) 土壌中の交換性陽イオンの測定. 河瀬高校高大連携事業, 滋賀県立大学, 彦根市 (2015年8月23日).

高倉耕一 (2017) 雑誌編集の裏側: 査読者・編集者は何をしているのか?. 日本環境動物昆虫学会第29回年次大会ランチョンセミナー「論文原稿の書き方・直し方」, 滋賀県立大学, 彦根市 (2017年11月18日).

3) 授業

原田英美子, 琵琶湖の水溶性植物の隠された能力をしらべよう2017 (日本学術振興会 ひらめき☆ときめきサイエンス受託事業), 彦根市 (2017年7月23日).

Harada E. (2018) Accumulation of Heavy Metals in Plants. Udon Thani Rajabhat

University, Udon Thani, Thailand (2018年3月4日).

畑直樹 (2017) 出張指導 2年生「探究」中間発表会. 高大連携事業, 滋賀県立膳所高等学校 (2017年11月17日).

入江俊一 (2017) DNAの切断, 結合, 大腸菌の形質転換. 滋賀県立大学・虎姫高等学校高大連携事業, 滋賀県立大学 (2017年8月21日).

高倉耕一. (2017) 見境のないオスが外来種問題を引き起こす?. 滋賀県立高等学校生徒を対象とする大学連続講座, 滋賀県立大学 (2017年8月2日).

上町達也 (2017) 野菜の遺伝子を取り出してみよう. 岐阜県立大垣東高校理数科高大連携講座, 滋賀県立大学 (2017年7月25日).

8. 展覧会等 (なし)

9. 競争的研究資金の導入

1) 本学特別研究

上河原献二, 伴修平, 畑直樹, 野間直彦, 須戸幹. 湖沼周辺における水陸両生外来水生植物管理. 特別研究, 平成29~31年度, 460万円.

飯村康夫, 増田清敬, 尾坂兼一. バイオチャーを活用した次世代型水田土壌の創生. 平成29-30年度, 93万円.

大久保卓也, 須戸幹, 皆川明子. 水田地域の生態系保全技術の指針づくり. 特別研究, 平成28~30年度, 500万円.

2) 科学研究費補助金

原田英美子, 永川栄泰, 櫻井昇. 水生植物の元素集積に影響する環境要因の解明および水圏からの金属回収法の開発. 基盤研究(C), 平成27~29年度, 平成29年度55万円.

飯村康夫, 泉津弘佑, 藤嶽暢英. プライミング効果による土壌炭素分解: 温暖化応答メカニズムの解明. 基盤研究(C), 平成29~31年度, 160万円.

小泉博, 飯村康夫, その他4名. バイオチャーを用いた森林における炭素隔離効果と生態系応答機構の解明. 基盤研究(A), 平成27~30年度, 70万円.

田中健太, 丑丸敦史, 飯村康夫. 植生履歴が草原の生物圏に与える影響: 古い草原の歴史的価値. 基盤研究(C), 平成29~31年度, 24万円.

入江俊一. プロテインキナーゼA触媒サブユニット遺伝子過剰発現によるリグニン分解系誘導の機構. 基盤研究(C), 平成27~29年度, 117万円.

渡辺隆司, 入江俊一, 磯崎勝弘, 西村裕志, 片山正人. リグニン認識機能を賦与した人工酵素触媒の合成によるバイオマス分解新戦略. 基盤研究(A), 平成28~30年度, 182万円.

泉津弘佑. 順遺伝学および逆遺伝学的手法を用いた外生菌根菌ホンシメジの共生研究基盤の開発. 若手研究(B), 平成29~30年度, 130万円.

増田清敬. ライフサイクルアセスメントと包絡解析法の統合によるわが国の水稻栽培の環境効率分析. 基盤研究(C), 平成29~31年度, 40万円.

山本康貴, 近藤巧, 合崎英男, 齋藤久光, 齋藤陽子, 近藤功庸, 増田清敬, 澤内大輔. 農産物貿易自由化が環境に及ぼす影響の総合研究: 農産物貿易交渉力の強化に向けて. 基盤研究(A), 平成26~29年度, 35万円.

小林久, 前田滋哉, 野田浩二, 皆川明子. 量・質・エネルギー・環境を考慮した水利用の評価手法と合理的な水利調整の開発. 基盤研究(B), 平成26~29年度, 1万円.

鈴木一実, 泉津弘佑. 植物病原菌類の病原性発現におけるホメオボックス転写因子の役割および進化. 基盤研究(C), 平成29~31年度, 170万円.

高倉耕一, 西田隆義, 中西康介. シマドジョウ種群の繁殖干渉: 農環境の変化による稀少種間の同所的繁殖と絶滅リスク. 基盤研究(C), 平成29~31年度, 90万円.

沢田裕一, 西田隆義, 塚田森生, 高倉耕一. 検疫害虫ミバエ類の原産地における生態特性と種間関係: 繁殖過程と寄主選択からの解明. 基盤研究(B) (海外学術調査), 平成25~29年度, 377万円.

上町達也. 伊豆諸島のガクアジサイ遺伝資源からの強光耐性系統の選抜並びに耐性機構の解明. 基盤研究(C), 平成27~29年度, 100万円.

3) 政府および地方公共団体 (関連法人を含む) からの補助金

清水顕史. 農林水産省・ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト (LCT0006) イネのリン酸吸収と利用を改善する遺伝子の同定とDNAマーカーの開発. 平成25~29年度, 平成29年度, 100万円.

4) その他財団からの研究補助金

須戸幹. 財団法人河川環境管理財団, 畑地, 果樹園, 転作田に由来する農薬の河川水における残留リスク評価と浄水過程におけるリスク軽減対策. 平成27年度, 100万円.

5) 受託研究の受け入れ

入江俊一. 県内食用キノコの増収と品質保持及び機能性成分増量技術等の開発. 岐阜県森林研究所, 平成28年度, 40万円.

10. 研究員の受入

平山琢二. 寺本憲之 (客員研究員) (2017年4月1日～2018年3月31日).

高倉耕一. 畠佐代子 (客員研究員) (2017年4月1日～2018年3月31日).

11. 特許, 実用新案, 品種登録, 意匠, その他著作権に関わる事項 (なし)

12. 社会への貢献

1) 各種委員会

平山琢二. 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー (農林水産省).

入江俊一. 滋賀バイオサロン, 委員 (2017年4月～2018年3月).

入江俊一. 科学研究費補助金 特別研究員等審査会 専門委員及び国際事業委員会書面審査員・書面評価員 (2017年8月～2018年6月).

大久保卓也. 滋賀県農政水産部水産課 水産多面的機能発揮対策にかかるとの第三者委員会委員 (2018年1月～3月).

清水顕史. 滋賀県農業技術振興センター「研究ビジョン」検討会議, 外部評価委員, (2017年9月27日).

須戸幹. 水産動植物登録保留基準設定検討会 (環境省), 委員, 3回 (2017年4月～2018年3月).

須戸幹. PRTR非点源排出量推計方法検討会 (環境省), 委員, 1回 (2017年4月～2018年3月).

須戸幹. 近畿農政局農業農村整備事業等事業評価技術検討委員会, 委員, 4回 (2017年4月～2018年3月).

須戸幹. 赤野井湾流域協議会 (滋賀県), 委員, 1回 (2017年4月～2018年3月).

須戸幹. リサイクル製品認定懇話会委員 (滋賀県), 委員, (2017年4月～2018年3月).

須戸幹. 大津市環境審議会 (大津市), 委員, 1回 (2017年4月～2018年3月).

須戸幹. 膳所高校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員, 2回 (2017年4月～2018年3月).

須戸幹. 青少年のための科学の祭典滋賀大会, 副実行委員長, 4回 (2017年5月～2017年12月).

須戸幹. 農薬残留対策総合調査水質農薬残留調査 (環境省), 検討委員, 2回 (2017年10月～2018年3月).

須戸幹. 農薬の位置づけ等検討作業部会 (環境省), 委員, 2回 (2017年4月～2018年3月).

須戸幹. 農薬の水生生物に対する影響調査業務検討委員会, (環境省), 座長, 2回 (2017年4月～2018年3月).

須戸幹. 水産基準の運用・高度化検討会 (環境省), 委員, 2回 (2017年4月～2018年3月).

鈴木一実. 湖南省環境審議会委員, 2回 (2017年11月, 2018年3月).

鈴木一実. 滋賀県農林水産関係試験研究外部評価委員, 1回 (2017年10月).

鈴木一実. 滋賀県協同農業普及事業外部評価委員, 3回 (2017年2月).

鈴木一実. 滋賀県農業大学校外部評価委員, 1回 (2017年10月).

高倉耕一. 京都市外来種チュウゴクオオサンショウウオ対策検討委員会委員, 1回 (2018年3月).

2) 学会貢献

畑直樹. 日本養液栽培研究会運営委員 (2017年4月～2018年3月).

畑直樹. 平成29年度園芸学会近畿支部滋賀大会実行委員 (2017年4月～2017年9月).

飯村康夫. 日本土壌肥料学会編集委員会常任委員 (2016年4月～2017年3月).

飯村康夫. 日本腐植物質学会常任評議員 (2018年1月～2019年12月).

泉津弘佑. 関西病虫害研究会編集委員 (2017年4月～2018年3月).

泉津弘佑. 日本農薬学会編集委員 (2017年4月～2018年3月).

岩間憲治. 農業農村工学会京都支部代表幹事 (2017年4月～2018年3月).

岩間憲治. 農業農村工学会大会実行委員会幹事 (2018年2月～2018年12月).

岩間憲治. 農業農村工学会大会運営委員会委員 (2018年2月～2018年12月).

増田清敬. 地域農林経済学会常任編集委員 (2017年4月～2018年3月).

大久保卓也. 日本水環境学会関西支部支部長 (2017年4月～2019年3月).

大久保卓也. 日本水環境学会理事 (2017年4月～2019年3月).

清水顕史. 日本育種学会幹事 (2017年4月～2018年3月).

清水顕史. 近畿作物育種研究会評議員 (2017年4月～2018年3月).

須戸幹. 日本水環境学会水環境学会関西支部理事 (2015年4月～2016年3月).

須戸幹. 日本農薬学会農薬環境科学研究会委員 (2015年4月～2016年3月).

鈴木一実. 関西病虫害研究会編集委員長 (2017年4月～2018年3月).

鈴木一実. 関西病虫害研究会評議員 (2017年4月～2017年3月).

高倉耕一. 関西病虫害研究会編集幹事 (2017年4月～2018年3月).

高倉耕一. 第29回日本環境動物昆虫学会年次大会実行委員長 (2017年11月18～19日).

高倉耕一. 日本環境動物昆虫学会編集委員長 (2017年4月～2018年3月).

高倉耕一. 日本環境動物昆虫学会評議員 (2017年4月～2018年3月).

高倉耕一. 日本環境動物昆虫学会理事 (2017年4月～2018年3月).

上町達也. 園芸学会近畿支部評議員 (2017年4月～2018年3月).

上町達也. 園芸学会英文誌 (Hort. J.) 編集委員 (2017年4月～2018年3月).

上町達也. 平成29年度園芸学会近畿支部滋賀大会実行委員 (2017年4月～2017年9月).

3) 国際貢献

大久保卓也. 韓国農林省, 韓国農漁村公社のメンバー計6名が来訪。非点源汚染対策に関する琵琶湖での取り組み事例を説明。(2017年10月30日).

須戸幹. 湖南省洞庭湖プロジェクト, 中国科学院亜熱帯農業生態研究との学術交流(2017年6月4日～6月9日).

4) その他

畑直樹. 大阪大学大学院工学研究科招へい研究員 (2017年4月～2018年3月).

13. マスメディアとの対応

原田英美子 (コメント) くすぶる東北大の論文疑惑. 朝日新聞科学欄 (2017年5月18日).